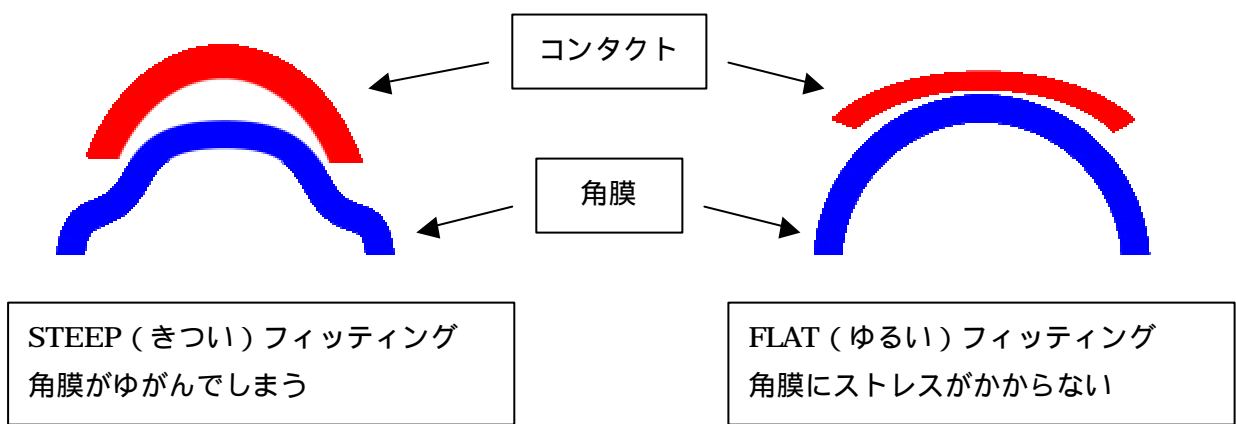


コンタクトフィッティングの良し悪し

- なぜ Steep fitting は悪いか？ -

コンタクトレンズを処方するためには、個人の角膜のカーブにあわせて、コンタクトのフィッティングを選ばなければいけません。角膜のカーブに対してきつめのフィッティングを Steep fitting、反対にゆるめのフィッティングを Flat fitting といいます。このフィッティングはコンタクトの動きとセンタリング(コンタクトレンズが黒目の中心にあるか)で行い、コンタクトの動きが充分でセンタリングも安定しているフィッティング(やや Flat fitting)がよいとされています。しかし、肉眼確認だけではセンタリングの安定を重視してしまいがちで、どうしてもきつい STEEPなフィッティングになりがちです。眼科医が最終的に細隙燈顕微鏡を使用し、涙液層染色を併用することにより初めて適正なフィッティングが可能になります。



STEEP なフィッティングは、様々な角膜障害を引き起こし目には非常に悪いものです。

Steep フィッティングによる障害

1. コンタクトレンズの動きが充分でない 角膜の涙液交換が悪くなることから角膜の酸素不足を生じ角膜内皮障害の発生や、急性角膜上皮浮腫、びまん性点状表層角膜炎、角膜びらん、角膜潰瘍などを生じる。角膜の内皮細胞は、一度壊れると再生せず、万が一、将来に眼の手術など必要になったとき手術が出来ないことがある。

(眼は、まだ二つあると思うな、二つあって初めて遠近が分かるのだよ)

2. コンタクトレンズのフチ(エッジ)が角膜にあたる エッジ痕などの傷をつくりやすい。
3. コンタクトレンズが目に固着し、眼痛、充血、かすみなど出現。レンズが汚れやすい。

Steep fitting と適正 fitting (やや Flat) の違い

	Steep fitting	適正 fitting
レンズの動き	少ない動き	規則正しい上下動
レンズの安定位置	中央	中央
症 状	初めは良く見える、圧迫感あり、装用後しばらくして充血、かすみなど出現、はずしづらい、汚れやすい	快適、レンズの動き少し気になる、安定した視力、急な目の動きに弱い